

津波緊急避難場所 案内板を設置しました

南海地震と津波から命を守るためには、まずケガをしないこと、そして素早く高台へ逃げることです。

一刻を争う津波の避難は、避難場所がどこにあるのかを「事前に」知っておくことが重要な「備え」になります。

今年度も財団法人日本宝くじ協会の助成事業により、津波の緊急避難場所案内板を、町内に3箇所設置し、町内に設置している緊急避難場所案内板は26箇所となりました。

町民の皆さんはもとより、黒潮町の地理に詳しくない方でも、津波が発生した場合に安全な場所はどこにあるのか知っていただくために設置したものです。

案内板に示している避難場所の多くは、迫り来る津波を回避するための一時的

な避難場所です。また、案内板に表示されていない場所でも近くに安全な高台がないか日頃から知っておくことも重要な津波対策となります。

表示内容は、案内板を設置している現在地と近くにある避難場所の位置、周辺の道路の状況、津波の心得などを、わかりやすいイラストで示しています。皆さんの住んでいる地域の避難場所を再確認し、津波から一刻も早く逃げる道、場所を記憶にとどめましょう。

- ◆ 平成21年度案内板設置場所
- ◆ 佐賀漁民センター
- ◆ 小川橋のたもと
- ◆ 田村集会所



海上自衛隊輸送訓練

2月19日(金)自衛隊による東南海・南海地震を想定した訓練が実施されました。訓練は国道56号が被災し陸路を絶たれて孤立した黒潮町住民を、海から救助するという想定で実施されました。

内容はLCAC（ホバークラフト）が入野海岸に2艇上陸し、車両輸送訓練や住民輸送訓練を実施するというものです。



当日は180名(黒潮町周辺地域の方を含む)を超える住民のみなさんに参加していただき、LCACに乗り込み、沖にある母艦まで移動後、艦内の見学をしていただきました。

参加されたみなさんや、広報をご覧になっているみなさんには、これを期にこれからの防災対策を考える新たなきっかけにしていたければ幸いです。

訓練に協力していただいた地元漁協やサーファーのみなさん、ありがとうございます。

